

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度 第 1 回上越市地産地消推進会議

2 開会

3 議事（公開・非公開の別）

- (1) 上越市地産地消推進の店認定審査（非公開）
- (2) 平成 27 年度事業報告（公開）
- (3) 平成 28 年度経過報告及び今後の取組について（公開）
- (4) 意見交換（公開）
- (5) その他（公開）

4 閉会

5 開催日時

平成 28 年 6 月 28 日（火）午後 2 時から午後 3 時 25 分

6 開催場所

上越市役所 302 会議室

7 傍聴人の数

0 名

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：西脇健一、小菅英晴、笹川玲子、松内 厚、小森茂、五十嵐紀文、柳澤絵里、
- ・オブザーバー：村山大成（新潟県上越地域振興局農林振興部生産振興課長）
- ・事務局：農村振興課 古澤課長、栗和田副課長、伊藤係長、内山主任
教育総務課 本間副課長
農政課 古川主任
農林水産整備課 田原係長
農林水産整備課 雲田主任

9 発言の内容

開会

(1) 開会

農村振興課伊藤係長：ただ今から、平成 28 年度第 1 回上越市地産地消推進会議を開催いたし

ます。

本日、司会を務めます推進会議事務局の農村振興課・伊藤でございます。よろしくお願いいたします。

最初に、所属の人事異動等に伴い委員の皆様の交代がございましたのでご紹介をさせて頂きたいと思います。お手元の委員名簿とあわせてご確認いただきたいと思います。

えちご上越農業協同組合 園芸畜産課の岩崎課長様が交代になりましたので、今回から直売事業担当課長の松内厚様から出席していただいております。また、株式会社ナルスさんにつきましても山崎会長から代表取締役社長森山仁様に交代というご連絡を頂いております。なお、森山様につきましてはご都合により本日ご欠席でございます。

オブザーバーといたしまして、新潟県上越地域振興局の真貝副部長様からご参画をいただいておりますが、本日はご都合により生産振興課の村山課長様からご出席をいただいております。よろしくお願いいたします。

それでは、はじめに、西脇会長より開会のあいさつをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 会長あいさつ

西脇会長： 皆様、忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

今、伊藤係長の方から新メンバーということで紹介がお二人ありまして、そのうちナルスの森山さんが欠席ということですが、本日の会議につきましては、ぜひ、忌憚のない意見を出し合って、地産地消推進会議の中で上越市を発展させたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

農村振興課伊藤係長：ありがとうございました。

それでは議事に入ります前に、本日の会議資料について確認をさせていただきたいと思います。皆様の方に事前にお配りいたしました資料もございます。もし、本日お持ちでなければ、こちらの方からお渡しさせていただきたいと思いますが、事前送付させていただいております資料No.1 から7までございますでしょうか。

また、委員の出席状況ですが、本日、松田委員、片田委員、森山委員の3名の

方がご欠席という事でご連絡を受けております。

資料No.1の「上越市地産地消推進の店認定事業実施要綱」の3ページをご覧ください。第13条の9項により、「推進会議の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。」とありますが本日の会議は、半数以上の出席がありますので、この会議は成立するという事を申しあげさせていただきます。

事務局ですが、我々、農村振興課のほかに担当をしている他の課の職員4名ほど出席しておりますので、ご了承頂ければと思います。

それでは、これより先は、「上越市地産地消推進の店認定事業実施要綱」により「推進会議の会議は、会長が議長となる。」ということですので、西脇会長の方から議事運営をお願いしたいと思います。会長よろしく願いいたします。

西脇会長： それではしばらくの間、私の方で議長を務めさせていただきますので、よろしくをお願いします。

引き続き、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

次第、「3 議事(1) 上越市地産地消推進の店認定審査」について事務局から説明をお願いします。

(3) 上越市地産地消推進の店認定審査(非公開)

(4) 平成27年度事業報告、平成28年度経過報告及び今後の取組について(公開)

西脇会長： それではお手元の次第に沿って進めさせていただきます。

次第の「3 議事(2) 平成27年度事業報告」、「(3) 平成28年度経過報告及び今後の取組について」は関連がございますので、事務局の方から一括で説明をお願いします。

農村振興課内山主任： ≪資料No.6、7を基に説明≫

西脇会長： ありがとうございます。

今ほど事務局の方から説明を受けましたが、委員の皆様からご意見・ご質問等ありますでしょうか。

ここは、報告事項なのでそれほど質問もないかと思いますが、皆さんの方で何かございませんでしょうか。

では、無いようですので、引き続き次第の「4 意見交換」に移らせていただ

いきます。よろしいでしょうか。

(5) 意見交換（公開）

西脇会長： ここからは、日頃、委員の皆様が感じておられること、「地産地消」への思いなど、何でも結構ですので、自由にご発言いただければと思います。
今後、この「地産地消推進会議」で取り組むべき事項等の提案をいただければ幸いです。

私の方から、先ほど資料を配らせていただきました。

前浜の魚の水揚げですが、直江津、能生、筒石、浦本の各漁港の去年の4月分から6月分です。直江津漁港の水揚げ4、5、6月分を見て頂きますと、4、5、6月で直江津の水揚げがほとんど終わってしまいます。能生、筒石の大きい港の水揚げ量から比べてもヒラメなどは直江津の方が多という事はお解りになるかと思いますが、多い時は一番おいしい時で、一番値段が下がる時です。年にこの4、5、6月ですが6月はほとんどなく、あえて4、5月の水揚げで終わるわけですが、この水揚げの資源を年間通して、何かこの地産地消の中で役に立てられることがないかなという事で、考えますとやはり、たくさんとれた時に、一番おいしい時に一番値段が安い時のものを保管して、上越の中で年間、認定店に使っていただくようなことが出来ないかなという話をしたくて、この資料を作った訳です。能生、筒石は、地産地消の中のエリアですけど、上越市ではないです。能生、筒石を考えると年間の魚の商材は、ほとんど揃うんですけど、第一に直江津から柿崎の地元の水産の原料について、何かまた、我々の方と市の方で考えて、一番おいしい時のものを年間通して、提供、提案できる方法があればと思っています。今日は、その話をする場所ではないと思っておりますので、市の方の皆さんに考える時間があつたら、またご指導をお願いしたいと思っております。

皆さんの方で何かございませんか。意見交換ですので、こういった形で「地産地消推進会議」を続けて行ってもいいのか、これにプラスアルファをして、もっといいことが議論出来ないのか、というところも踏まえて何かご意見ありましたら伺いたいと思います。松内さん、どうでしょうか。

松内委員： 初めて、参加させていただきます。農協の松内と言いますよろしくお願いしま

す。

私の方から、地産地消に関して、地元の方々にどれだけ多く地元の食材、農産品を使えてもらえるかということがやはりこの会の目的かなと思います。飲食店ですとか、旅館ですとかそういうところから地道に広がっていけばと思いますけど、あわせて上越市民の方々にどう地元の食材をつなげていく方策をこの会として、とれるのかというところの動きを若干持っていただければなというのは個人的な部分です。何か定着する、知ってもらう、認知してもらおうというところの動きをもう一回出来ればいいなと、この会に出席させていただいて思いました。今日、認定されたお店、もうすでに認定されているお店の方からもお客さんに情報発信をどうつなげていくかというところで、また皆さんのお知恵があればなというところも感じました。

西脇会長： ありがとうございます。

昨年、キャンペーンをして一般市民の皆様から応募していただいたときに、一言書いてあったものを思い出しましたが、キャンペーンに関しては非常にいい事だと書いてありましたけど、それ以上のすばらしい言葉がかえってくればいいなと思っています。

あとは、よろしいでしょうか。

笹川委員： 今回、年末お魚中心で、去年は野菜中心で、直江津の地場産という冬のお魚でそんなにないので、どっから来てもいいとなれば別ですけど、真冬なのでどうしてもブリ系を使って、佐渡からのものが中心になってしまう。

西脇会長： そのために、能生、筒石まで地産地消のエリアに入れてあるのです。

笹川委員： 直江津はやっぱり、さっきの話、何もない感じですか。

西脇会長： ほとんど、水揚げがなくなる時期です。小船ですので、11月、12月になると波が高くて出られない日の方が多いので、能生、筒石の方の4トンクラスの船でも年間130日くらいしか漁に出られないです。その10分の1くらいの船でちょっと波が出れば使用できないんで、とりあえず魚のキャンペーンをするのは、直江津を含めた能生、筒石、浦本で、今、市の方にも言っているのが、名立の漁業の魚が地元に出してほしいなと、その努力を市の方からしてほしいなということは今、話を進めています。うまくいくかわからないけど、

話は進めさせていただいています。

ということで、直江津から柿崎の方に関しては少なくなりますけど、能生、筒石、浦本の方までのエリアということで考えていますので、商材には不足しないのではないかと考えております。

何か他にあればお聞きしたいと思います。

小菅さん、何かありましたらお願いします。

小菅委員： ヒラメの問題が出てきたことがあって、韓国系が危ないとか、ヒラメを遠慮する店も出てきているらしいです。業界では。ヒラメは一時期問題で、養殖ヒラメは問題がおきたりする。この時期、本当はヒラメやタイがいいと思っていますけど。

西脇会長： ヒラメは今、禁止はしていませんけど、何千匹に1匹のいわゆる人体に影響のある物が最近出てきているらしいけど、それは冷凍すればその菌は死ぬということで、今、量販店の方では一旦冷凍をかけないヒラメを刺身に出してはいけないというのが実状でありまして、上越のエリアでは実際にヒラメに関する被害は出てないですけど、柏崎の方ではかなり保健所さんが敏感だという話の中で上越も。

笹川委員： 養殖ものではなくて、天然ものにいる。

西脇会長： 天然ものにいるようになったらしい。いわゆる現代病みたいなものです。

笹川委員： カレイではなく、ヒラメだけに。

西脇会長： それを冷凍しなければいけない、冷凍すれば大丈夫だという事で、ただ、冷凍するとどうしてもおいしくないですから、冷凍しても旬の時に一番おいしい時にとった味をそのまま冷凍しても大丈夫な機械が今、出てきているのです。それを木田の「から松や」さんで県や国の方から援助をいただきながら、その機械を買って今、それを冷凍させて、販売する権利をうちでいただいているのですけど、それに関しては、食味も触感も非常にいいです。でも、イメージが冷凍というとなかなか、ヒラメに関してはそういう事です。

それでは、ご意見も尽きないところですが、時間ですので皆さんからご意見いただきましたけど、地産地消の推進事業の中で反映していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

では、引き続き、次第の「5 その他」にうつります。事務局からお願いします。

(6) その他（公開）

農村振興課伊藤係長：事務局からご連絡させていただきます。

資料 No. 5 については、個人情報も含まれておりますので、この場で回収させていただきたいと思っております。「取扱注意」と書かれた資料につきましては机の上にそのまま置いて行っていただければとお願いいたします。

また、私ども市で設置しております「上越市食育推進会議」というものがございます。当課が事務局でございますが、上越市の「食育推進計画」を作ったり、その計画の進捗を確認等するのが使命になっております会議ですが、7月の下旬に委員改選がございまして、大きな食育の観点の中で地産地消もその一翼を担っていると考えておりますので、「食育推進会議」の方に地産地消推進会議の委員の方からご就任いただきたいと思いますと考えまして、会長とも協議をさせていただきました結果、笹川委員からこの「地産地消推進会議」を代表して、「上越市食育推進会議」の委員もお願いするという事でご内諾をいただいているところであります。あわせて、ご報告をさせていただきたいと思っております。

事務局の方からは、以上になります。

西脇会長：ありがとうございました。

もう、5分くらいありますので、意見があればここで伺いますし、意見がなければ、これで本日の「上越市地産地消推進会議」の議事を終了したいと思いますがいかがでしょうか。

それでは、これで終了させていただきます。本日は忙しいところありがとうございました。

(7) 閉会

農村振興課伊藤係長：西脇会長、どうもありがとうございました。

長時間に渡り、皆様から積極的なご発言と貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。

以上をもちまして、本日の「平成 28 年度第 1 回上越市地産地消推進会議」を終了いたします。大変、ありがとうございました。

問合せ先

農林水産部農村振興課

TEL : 025-526-5111 (内線 1272)

E-mail : nouson-shinkou@city.joetsu.lg.jp

その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。